

大牟田市役所本館の整備を考える市民学習会



大牟田市役所本庁舎旧館 【登録文化財】

昭和11年(1936年竣工)
鉄筋コンクリート造4階建(塔屋付)
設計：福岡県営繕課 施工：柿原組
※第二次世界大戦の戦火で市街地は焼け野原になったが
松屋デパート、三井化学J工場と共に耐え抜いた。
屋上には高射砲台座、防空監視哨が現存。



熊本市役所花畑町別館（旧熊本貯金局）

昭和11年(1936年竣工)
鉄筋コンクリート造3階建(4階増築)
設計：逓信省経理局営繕課 山田 守
施工：大倉土木
※関東大震災の経験を踏まえ耐震設計で建てられた。今年、3月に解体され、跡地にはみずほ銀行と共同で8階建ビルを建設予定。

実施日：平成30年5月5日(祭日) 14:00~16:30
会場：コミュニティーセンター「えるる」3階 大牟田市新栄町6-1
演題：「大牟田市役所本館の耐震診断報告書と評価書を読み説く」
講師：JSCA(日本建築構造技術者協会)九州支部 川崎 薫 氏

演題：「熊本市役所花畑町別館の保存運動の取り組みと大牟田へのエール」
講師：熊本まちなみトラスト 西嶋 公一 氏

参加費は無料ですが、資料が必要な方は200円で頒布します。

学習会参加の事前申込みは不要です。

**当日、13:00~13:30 現地説明会を行います。【集合は大牟田市役所玄関前】
説明会の参加希望者は事前に名簿登録が必要です。藤木までご連絡ください。**

私たち大牟田・荒尾炭鉱のまちファンクラブは、定款に「炭鉱のまちの風景と心象が次世代に継承されていくことを目的とする。」と掲げ、三池炭鉱関連の近代化産業遺産の保存・活用に取り組んでまいりました。

大牟田市役所の本館、新館、南別館、保健所庁舎の耐震診断について、新聞や公報等で概要を知ることができましたが、詳細については十分理解していませんでした。耐震診断報告書と評価書をきちんと読み説き、理解した上で安全性の議論をすることが必要です。

学習会では「本館(本庁舎旧館)」について、調査方法・診断結果はもとより、どのような耐震改修が必要なのか、そして経費はどうなるのかについて、前半で学ぶことができます。

庁舎整備の手法を検討するに際しては、①耐震診断による安全性②高齢者・障がい者等に配慮した使い勝手③災害等緊急時や効率的行政運営に対応できる機能性④コストパフォーマンス等の観点から検討が行われると思います。後半の講演では、「歴史的建造物の評価と活用」の視点を学びたいと考えています。現在、市では庁舎整備の手法等について検討する「大牟田市庁舎整備検討委員会」の設置が進められており、市民の意見を反映するための市民委員(2人)の公募中です。まさに、適時適切な学習会です。皆さまの参加をお待ちしております。

主催者：大牟田・荒尾炭鉱のまちファンクラブ

(問合せ・連絡先 藤木雄二090-7469-0517)